

「THE 地方創生 WEEK」地域別マッチング会

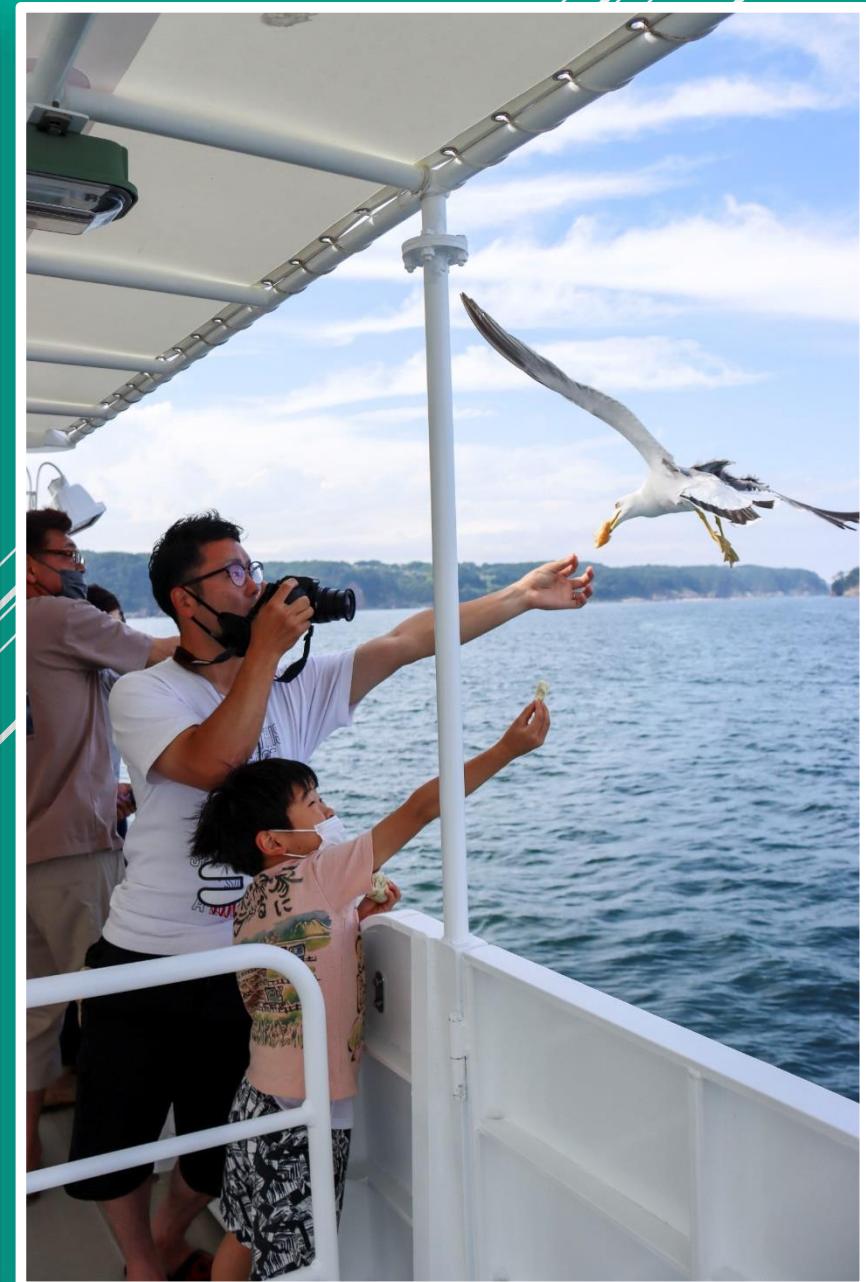
遊覧船



宮古

うみねこ丸 の運航支援

“本州最東端のまち” 岩手県宮古市





宮古 うみねこ丸 運航開始

宮古市遊覧船運航に係る方針決定経緯

令和3年1月に事業終了した旧浄土ヶ浜遊覧船、「遊覧船は宮古市観光の象徴である」と多数の声を受け、クラウドファンディング等を活用し、公設民営方式で令和4年7月17日より運航開始



「宮古うみねこ丸」船舶の概要について

- 総トン数 約19トン
- 旅客定員 80人
- 船質 アルミニウム合金
- 船体形状 双胴船



バリアフリートイレ 乗下船用リフター



R4.5.29 入港式

「出崎ふ頭」を新たな観光拠点として整備

「道の駅シートピアなあと」「宮古うみねこ丸」「しおかぜ公園」を中心とした新たな観光拠点として「出崎ふ頭」を活用し、観光客誘致に取り組んでいきます。



「宮古うみねこ丸」今後の展望と目標

法改正に伴う安全対策設備の整備

北海道知床沖の観光船事故を受け、国土交通省より、法改正の方針が示されている。

今後、安全対策面から、新たな設備の義務化の可能性があり、財源の確保が必要である。

今後義務化が見込まれている設備等

ドラレコ	ドライブレコーダーの設置
業務用無線	携帯電話が除外され、業務用無線が必須
救命いかだ	水温10度未満の海域を運航する船舶が対象
イーパブ	非常時に救難信号や位置情報を発信する装置
A I S	船の動きを自動識別できる装置

利用促進のための誘客PR

周年イベントや、貸切運航などのPRイベントを実施し、集客を図る。



今後の展望と目標

運行管理を一層徹底し、「宮古うみねこ丸」を観光振興の核として観光客の誘客を図ります。

目標乗船客数

4万人／年

目標寄付金額

1,000万円

安心・安全運航を第一とし、
夢と希望と笑顔を乗せて
「宮古うみねこ丸」は走り続けます

